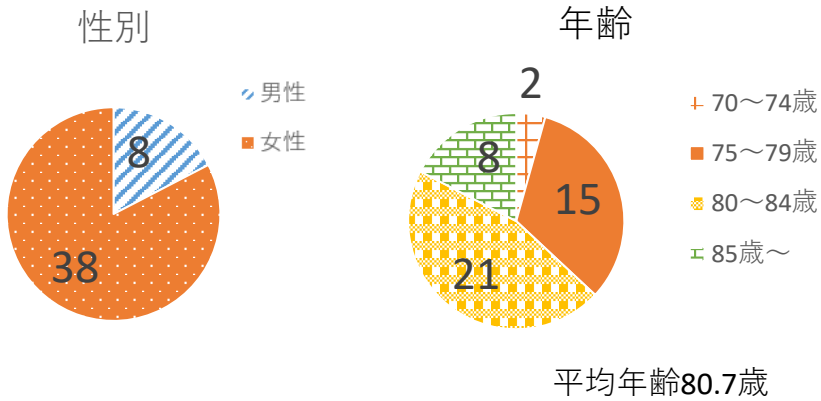


令和7年度 助言者研修会

令和6,7年度 自立支援型地域ケア会議の報告
岸和田市の事業について

令和7年度の現状報告

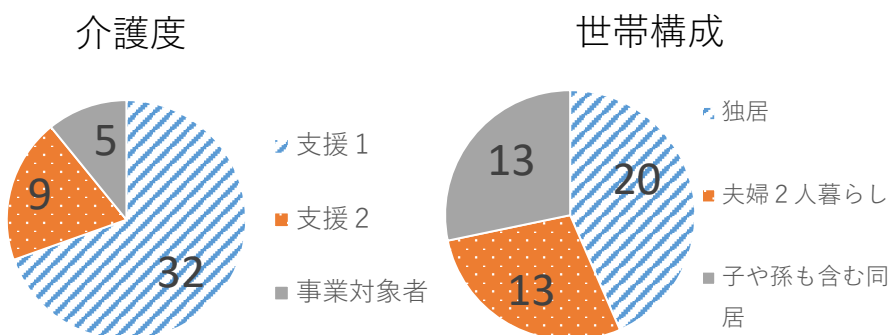
令和7年度（令和8年2月までの46名）



8割強が女性、後期高齢者が9割強を占める

3

令和7年度（令和8年2月までの46名）



要支援1が約7割を占める
独居もしくは高齢者世帯が約7割を占める

4

令和6年度 モニタリングシートの振り返り

5

令和6年度検討数：59人
モニタリングシートを提出した方：50人（回収率84.7%）

開催日	令和4年 月 日（水）	事例番号	R4-1	担当事業所	所属①	ケアマネ名	ケアマネ名①
自立を阻害する要因 （課題）	できなくて困っている。						
今後の方向性 （本人の目標）	①〇〇する			評価時期(3～6ヶ月後): R 年 月 日 達成 ・ 一部達成()% ・ 未達成			
	②××する			評価時期(3～6ヶ月後): R 年 月 日 達成 ・ 一部達成()% ・ 未達成			
	③△△する			評価時期(3～6ヶ月後): R 年 月 日 達成 ・ 一部達成()% ・ 未達成			
未達成の理由、目標の変更、本人の声や近況							
助言をプランに取り入れる ことができたか	できた ・ 必要だが合意至らず ・ 調整中				左記の理由		
短期集中C利用の有無	有() 月() 日() 無	地域活動参加の有無 (参加しているものこ)		①いきいき百歳侍様 ・ ②リビング ・ ③サロン ・ ④老人会 ⑤ボランティア・趣味活動など()			
助言の活用の有無	活かした ・ 活かせず	助言を活かした、または活か せなかった理由					
ケア会議への感想・ ご意見など							

運動
(リハ)

栄養

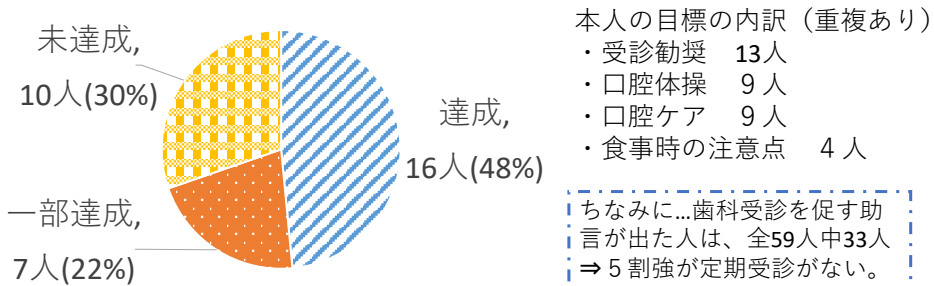
口腔

6

【口腔】 本人の目標の達成状況

口腔の助言を本人の目標の3つの内の1つとして位置付けた人は、50人中33人

本人の目標の達成率(N=33)



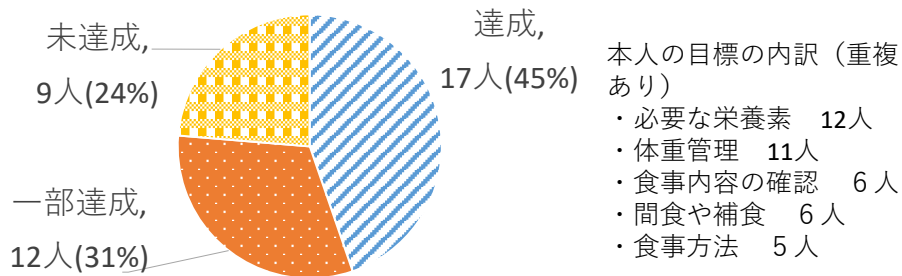
- ・取り入れやすいという感想が多く、半数が達成。
- ・受診勧奨の達成率が5割弱 (5/13人) と低い。

7

【栄養】 本人の目標の達成状況

栄養の助言を本人の目標の3つの内の1つとして位置付けた人は、50人中38人

本人の目標の達成率(N=38)

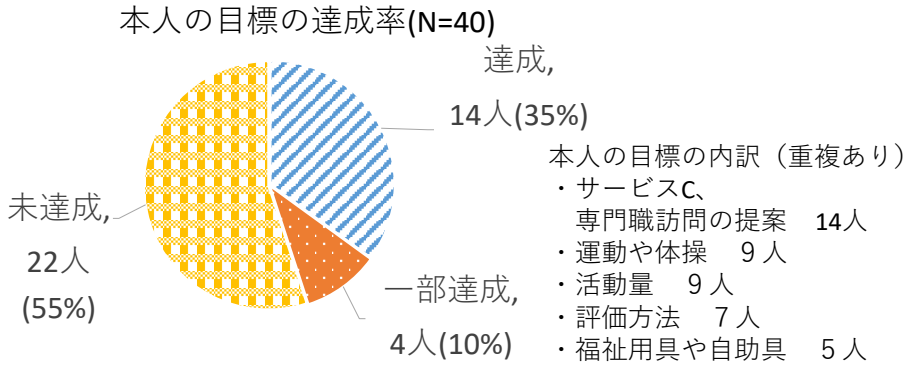


- ・日常の関わりが深く、利用者の意識もあり、8割弱が達成もしくは一部達成。
- ・自身の考えが強い場合や調理環境、経済状況により未達成。

8

【リハ】 本人の目標の達成状況

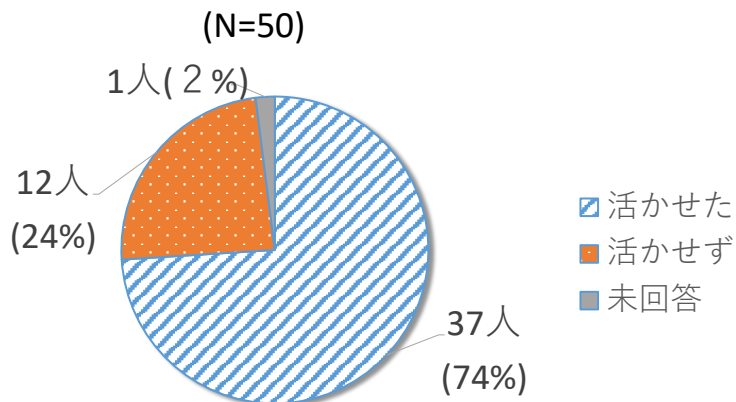
リハ（運動）の助言を本人の目標の3つの内の1つとして位置付けた人は、50人中40人



- ・本人の目標として位置付けた人は最も多かったが、達成率は低い。
- ・サービスCや専門職訪問の活用の達成率が2割(3/14人)

9

助言の活用

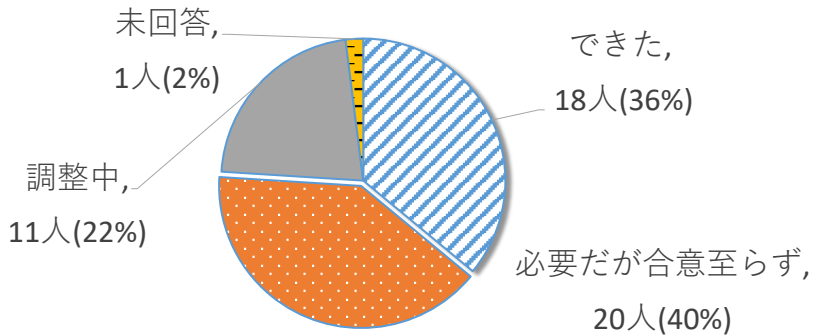


- ・本人の目標達成には届かなくとも、何らかの形で約7割が助言を活かした。

10

助言をプランに取り入れることができたか

令和6年度分 (N=50)



令和5年度はできたが半数と例年より高かったが、今年度は3割超と低下。

11

主任CMや看護職を中心とした意見から、モニタリングシートに本人の目標として位置づけがあったもの(11ケース、重複あり)

- ・ 内服内容、服薬状況の確認 →主治医と相談
- ・ 気分の浮き沈み、精神面へのフォロー
- ・ 本人の目標設定の具体化
- ・ 疾患（骨粗鬆症や泌尿器科等の主疾患ではないもの）に対してアプローチする。（病気の理解や受診の促し、他職種との連携等）
- ・ 今後の生活（生活習慣や免許返納後等）、引いてはACPについて考える機会をもつ。
- ・ 疾患の再発予防（水分摂取を促す）

達成7名(64%)、一部達成1名(9%)、未達成3名(27%)

12

令和8年度 本会議における 各職種の役割

13

ケア会議で出た助言や意見の実効性を高め、
利用者と可視化（共有）できるようにする。

【口腔・嚥下】

定期的な歯科受診の必要性、日々の取り組めることをわかりやすく提案する。

【栄養】生活に則した具体的なより良い食事内容について提案する。

【リハ】日常生活で取り組めることや、
他事業（専門職訪問やサービスC等）の提案は、
目的や効果と併せて助言し、連動制を高める。

【看護師】聞きたいことシートによらず、
心身の健康について医療的な視点から全身状態を把握し、
環境面も考慮の上、その人らしい生活を過ごすための提案をする。

【主任CM】会議の提案をどのように生活に落とし込み、
プランの中で関係者と共有するかを提案する（まとめ役）。

【市】専門職訪問やサービスCの事業を周知し、有用なケース活用を促す。

14

見る→わかる→活用できる 岸和田市の事業

～介護保険課を中心として～

15

専門職訪問の目的と内容

目的

1. ケア会議で出た専門職の助言の実効性を高める。
2. CMも同席することで、専門職の専門性を学ぶ機会とし、ケアマネジメントの向上に資すること。

内容

ケア会議で抽出した事例のうち、直接助言が必要と判断し、CM・利用者の理解を得た事例に対し、CM同席のもと、専門職が利用者に面接し、CMにも生活環境の評価及び助言内容の支援を行う。

16

岸和田市 短期集中予防サービスCの概要

- 利用料無料
- 身体機能、生活機能の低下がみられる高齢者に対し、
- 短期間・集中的に専門職が支援
(理学療法士、作業療法士、管理栄養士、看護師など)
- 目的：自立支援、重度化予防を目的とし、
長期サービスへの移行を防ぐことを目指す
- 実施期間：概ね 3か月（必要に応じて6か月まで延長）
毎月月初めより開始。
- 主な支援内容
 - ①運動機能向上（筋力・バランス等）
 - ②日常生活動作の改善
 - ③必要に応じた生活動作指導
 - ④栄養指導
- 提供体制
大阪府理学療法士会および大阪府作業療法士会へ委託

いきいき百歳体操&かみかみ百歳体操

- 平成26年度～ いきいき百歳体操
平成28年度～ かみかみ百歳体操
- いきいき百歳体操をベースに希望があった地域にかみかみ百歳体操を導入。
- 原則半年に1回包括が訪問。その内の1回は体力測定日として、市も同行し、体力測定・終了後に別途訪問し、フィードバックを行う。
- R7年度岸和田音頭の音源をもとに元気に百歳音頭という持久力を目的とした体操を普及啓発。

来年度以降の市の取り組み

通いの場（体操）以外の
社会参加の形を検討する。
介護予防の選択肢を増やすこと。